様式第７号（第21条関係）

番　　号

令和　8年　6月　23日

佐賀県県民協働課長　様

住　　所 佐賀県鳥栖市村田町1250番地1(真心の園内)
団　体　名 特定非営利活動法人 小児がん・まごころ機構
代表者職・氏名 理事長　中川原　章
電　話　番　号 0942-50-5542

佐賀県ふるさと寄附金「ＮＰＯ等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和7年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「ＮＰＯ等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「ＮＰＯ等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第１項の規定により提出します。

様式第７号（第21条関係）別紙

令和7年度 佐賀県ふるさと寄附金「ＮＰＯ等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

１　団　　体　　名　：　特定非営利活動法人 小児がん・まごころ機構

２　事　業　実　施　期　間　：　令和　7年　4月　1日　から　令和　8年　3月　31日

３　事　業　の　背　景　（※事業計画書から転記）

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

当法人は、日本及びアジアの小児がん及びAYA世代（１５歳～３９歳）のがんの治癒率向上を目指し、治癒した後の晩期合併症で苦しむ患者・家族のための支援をしている。これまで治癒した小児がん経験者総数は10万人を優に越している。従って、当法人の広報・イベント活動・支援活動等によって、佐賀県内におけるがんの治癒率が向上し、治癒後のQOL（生活の質）が改善されれば、佐賀県の子どもや若い世代のがん患者がより幸せな人生を送ることができるようになる。
　しかもそれだけでなく、当法人の啓発・啓蒙活動によって、多くの市民・県民が辛い立場にある彼らをより理解し、より強く支援するようになることが期待される。そのようなうねりがふるさと納税によって齎され、基盤を強化した当法人の活動から、県民が命の大切さをより良く理解し、より温かい絆で連携し、より強く互いに思いやりのある佐賀県を醸成することが可能となるであろう。また、悲惨な状況にあるアジアの小児がん、AYA世代のがんの患者・家族の現状を知ることで、それらを大幅に改善するための運動がこの佐賀県からアジアへ向けて起こってくるものと、多いに期待される

４　事　業　の　成　果

①県民の便益にどのようにつながったのか

佐賀県のふるさと納税寄附金を活用し、佐賀市で開催した「国際小児がんデー(ICCD)2026」等を通して,佐賀県民をはじめとした多くの方々に小児がんに関する啓発活動を行った。日本を含むアジアの小児、ＡＹＡ世代がんの現状を周知することで、治癒し、がんを経験した子どもや若者たちが成長した後も、多くの理解者と支援者に包まれ、より生きやすく生き甲斐を感じることのできる佐賀県を作る一助となった。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

がんで苦しむ子どもや若者は、罪の無い弱い立場に立つ人たちであり、佐賀県・日本において大変有能で大切な存在である。本機構が佐賀市で開催している小児がんイベント(ICCD 2026)等がインターネットを通じて世界に発信されることで、力強い支援と温かい思いやりの気持ちが醸成される。そして、これは、ICTやAIが進化する世界になっても、人間の本質を生かし続ける価値そのものとなり得る。そのような、人間であることに価値を見出せる、互いに支え合える社会を作ることができるということを、小児がんやAYA世代のがん患者の支援を通して、佐賀から日本中へ、そして世界へ広げることができれば素晴らしい。

５　寄 附 金 活 用 事 業 実 績　：　（別記１）

６　次 年 度 繰 越 額 活 用 見 込 み　：　（別記２）

７　寄　附　金　活　用　額　：　（別記３）

（別記１）寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 ［単位：円］	うち寄附金 活用額 ［単位：円］
①小児がんに関する啓発事業	①小児がん啓発月間に因み、日本を含むアジアの小児がん患者への支援と理解を社会に広く呼びかける ②日本を含むアジア小児がん経験者・一般の方々および医療関係者 ③講演会	①R7年9月7日（日） ②国立がん研究センター(東京)	1,900,000	950,000
②小児がんに関する啓発事業	①世界小児がんデーイベントの一環として、アジアの小児がんの治癒率向上と、日本におけるこどもホスピスの現状と問題について周知する ②佐賀県内の小児がん経験者・一般の方々および医療関係者 ③講演会	①R8年2月15日(日) ②佐賀市交流プラザエスプラッツ3F	840,722	840,722
その他	①広報活動のためのホームページ改修、メールマガジンの発行などを行う ②一般の方々および医療関係者 ③本機構に興味を持ってくださった方々に日本を含むアジアの小児がんの情報を届ける	①通年 ②事務所内	131,670	34,320
計			2,872,392	**1,825,042**

OK

（別記２）次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 （予定） ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 （見込み）	事業費の 支出見込み額 ［単位：円］	うち寄附金 活用見込み額 ［単位：円］
①小児がんに関する啓発事業	①小児がん啓発月間に因み、日本を含むアジアの小児がん患者への支援と理解を社会に広く呼びかける ②日本を含むアジア小児がん経験者・一般の方々および医療関係者 ③講演会	①R8年9月5日（土） ②国立がん研究センター(東京)	1,500,000	750,000
②小児がんに関する啓発事業	①世界小児がんデーイベントの一環として、アジアの小児がんの治癒率向上と、日本におけるこどもホスピスの現状と問題について周知する ②佐賀県内の小児がん経験者・一般の方々および医療関係者 ③講演会	①R9年2月7日(日) ②佐賀市交流プラザエスプラッツ3F	1,000,000	1,000,000
その他	①広報活動のためのホームページ改修、メールマガジンの発行などを行う ②一般の方々および医療関係者 ③本機構に興味を持ってくださった方々に日本を含むアジアの小児がんの情報を届ける	①通年 ②事務所内	680,242	680,242
計			3,180,242	**2,430,242**

OK

（別記３）寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額　…　①（＝Ａ＋Ｂ）			**5,493,623**
（内訳）	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額　…　Ａ		3,846,250
		本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	3,846,250
		前年度控除額（県事務経費）還付分	0
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額　…　Ｂ		1,647,373

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額…　②（＝a＋b）			**3,063,381**	
（内訳）	事業に活用した寄附金額　…　a		1,825,042	
	ふるさと納税の募集に要した費用の額　…　b		1,238,339	OK
		返礼品等の調達に係る費用	750,156	OK
		返礼品等の送付に係る費用	167,600	
		広報に係る費用	13,057	
		事務に係る費用	307,526	

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額　…　③（＝①－②）	**2,430,242**

■直近の収支報告書掲載箇所（ホームページURL等）

https://mocc4u.org/info/